

#### IV 拠点校における成果と課題

##### ・成果と課題

「6つの資質・能力に関するアンケート」(スーパーグローバルハイスクールの成果検証に係る指標も参考に作成)を実施した。

生徒自己評価の結果【表2】から、1年生に関しては、1年間の取組でほぼすべての項目で、平均値の微増が見られた。昨年度の1年生と比較しての特徴は、入学時の自己評価が低めであったことが挙げられる。特に認知的スキルに該当する「1」～「16」において顕著であった。上昇率もやや鈍いが、昨年度低下した「21」「27」は上昇した。非認知的スキルに該当する「17」～「29」については昨年度と同様にあまり上昇は見られていない。個々の設問においては平均値が大きく上昇しているものも見られる。これは昨年度も同様であり、課題研究(課題発見、課題設定、解決に向けた知識・技能・ビジョン等)に関することに対して、取組の成果と言えよう。非認知的スキルの育成が課題であることは昨年度と同様である。

2年生に関しては、昨年度はすべての資質・能力で、平均値が下降した。今年度はすべての項目で上昇しており、明らかな変化である。また、【表1】GPS-Academic (Benesse) のキラリ答案(記述・論述式問題の答案で着眼点が出ているもの)も増加傾向にある。取組の成果としたいところではあるが、生徒の自己評価の一部であること、表1のからA評価の答案数の増加が見られないこともあり、さらに分析は必要だろう。昨年度と同様に行事の中止や変更はあったが、生徒が「コロナ対応」に慣れてきたのも理由の一つであると考えている。

【表1】

コース・ 科目名	A 評価以上、キラリ答案の人数			
	2022	2021	2020	2019
批判_選択式	104	114	120	129
批判_記述式	32	37	33	22
協働_選択式	125	130	152	126
協働_記述式	81	70	10	6
創造_選択式	76	81	105	140
創造_記述式	50	66	20	69
キラリ答案	132	120	47	54

【表2】

## 【6つの資質・能力に関するアンケート 一覧表】

選択肢: 1.まったくあてはまらない/2.あまりあてはまらない/3.ある程度あてはまる/4.あてはまる

設問番号	設問内容	1年生				2年生					
		1年4月実施		1年1月実施		1年4月実施		1年1月実施		2年2月実施	
		平均	資質・能力	平均	資質・能力	平均	資質・能力	平均	資質・能力	平均	資質・能力
1	日本の歴史や伝統文化について理解している。	2.7	幅広く深い教養	2.9	幅広く深い教養	2.9	幅広く深い教養	3.1	幅広く深い教養	3.1	幅広く深い教養
2	世界の多様な文化や価値観・世界観について理解している。	2.7	幅広く深い教養	3.0	幅広く深い教養	2.7	幅広く深い教養	3.0	幅広く深い教養	3.1	幅広く深い教養
3	世界における日本の立場や役割を理解している。	2.7	幅広く深い教養	2.8	幅広く深い教養	2.6	幅広く深い教養	2.9	幅広く深い教養	3.0	幅広く深い教養
4	様々な情報源から、自身の学びに必要な情報や意見等を収集し、その信頼性を評価することができる。	2.9	幅広く深い教養	3.0	幅広く深い教養	2.9	幅広く深い教養	3.0	幅広く深い教養	3.3	幅広く深い教養
5	人類が目指す平和で民主的な社会について理解している。	2.9	2.8	2.9	2.9	2.9	2.8	3.0	3.0	3.2	3.1
6	現状を分析し、グローバルな視点で課題を発見することができる。	2.6	課題発見・解決能力	2.8	課題発見・解決能力	2.6	課題発見・解決能力	2.9	課題発見・解決能力	3.1	課題発見・解決能力
7	課題を解決するための知識や技能を有している。	2.5	課題発見・解決能力	2.6	課題発見・解決能力	2.5	課題発見・解決能力	2.8	課題発見・解決能力	3.1	課題発見・解決能力
8	問題把握や課題解決に必要な情報を収集することができる。	3.0	課題発見・解決能力	3.0	課題発見・解決能力	3.0	課題発見・解決能力	3.1	課題発見・解決能力	3.4	課題発見・解決能力
9	論理的に課題の解決策を考え、評価・検証を行うことができる。	2.8	課題発見・解決能力	2.8	課題発見・解決能力	2.7	課題発見・解決能力	2.9	課題発見・解決能力	3.2	課題発見・解決能力
10	適切な手段・方法を用いて、成果や考え等を発信することができる。	2.9	2.8	2.9	2.8	2.8	2.8	2.9	2.9	3.3	3.2
11	様々な課題の関連性から新たな課題を設定することができる。	2.7	新たな価値を創造する力	2.8	新たな価値を創造する力	2.7	新たな価値を創造する力	3.0	新たな価値を創造する力	3.2	新たな価値を創造する力
12	各教科で習得した知識や技能の関連性を見出すことができる。	2.8	新たな価値を創造する力	2.9	新たな価値を創造する力	2.8	新たな価値を創造する力	3.0	新たな価値を創造する力	3.1	新たな価値を創造する力
13	各教科で習得した知識や技能を課題解決にいかすことができる。	2.9	新たな価値を創造する力	2.9	新たな価値を創造する力	2.9	新たな価値を創造する力	3.0	新たな価値を創造する力	3.1	新たな価値を創造する力
14	自分やグループの意見を論理的に説明することができる。	2.7	新たな価値を創造する力	2.9	新たな価値を創造する力	2.8	新たな価値を創造する力	3.0	新たな価値を創造する力	3.3	新たな価値を創造する力
15	課題解決に向けて明確なビジョンを示すことができる。	2.6	新たな価値を創造する力	2.7	新たな価値を創造する力	2.6	新たな価値を創造する力	2.9	新たな価値を創造する力	3.1	新たな価値を創造する力
16	他者と協働し、想像的に課題を解決することができる。	2.9	2.8	3.0	2.9	3.0	2.8	3.1	3.0	3.3	3.2
17	自己の活動を振り返り、次の活動に向けて具体的な目標を設定することができる。	2.8	主体的に行動する力	3.0	主体的に行動する力	3.0	主体的に行動する力	3.0	主体的に行動する力	3.3	主体的に行動する力
18	岡山・日本・世界の課題を解決しようという意欲がある。	2.9	主体的に行動する力	2.8	主体的に行動する力	3.0	主体的に行動する力	3.0	主体的に行動する力	3.1	主体的に行動する力
19	社会の諸問題を自らの問題として主体的に考えることができる。	2.8	主体的に行動する力	2.9	主体的に行動する力	2.8	主体的に行動する力	3.0	主体的に行動する力	3.2	主体的に行動する力
20	課題解決に向けて、粘り強く取り組むことができる。	3.0	2.9	3.0	2.9	3.1	3.0	3.1	3.0	3.3	3.2
21	他者の考えや思い、価値観について誠意を持って理解しようとするすることができる。	3.2	他者と協働する力	3.3	他者と協働する力	3.4	他者と協働する力	3.3	他者と協働する力	3.4	他者と協働する力
22	メンバーとビジョンを共有することができる。	3.1	他者と協働する力	3.1	他者と協働する力	3.0	他者と協働する力	3.1	他者と協働する力	3.4	他者と協働する力
23	課題解決に向けて協働して取り組むよう働きかけることができる。	3.0	他者と協働する力	3.0	他者と協働する力	3.0	他者と協働する力	3.1	他者と協働する力	3.3	他者と協働する力
24	メンバーの資質・能力や適性をいかによう働きかけることができる。	2.9	他者と協働する力	3.0	他者と協働する力	2.9	他者と協働する力	2.9	他者と協働する力	3.2	他者と協働する力
25	メンバーの中で自己の果たすべき役割を考え、それに対して責任ある行動を取ることができる。	3.1	3.1	3.1	3.1	3.2	3.1	3.2	3.1	3.4	3.3
26	様々な状況において、自己の感情をコントロールすることができる。	3.1	自他を尊重する	3.1	自他を尊重する	3.2	自他を尊重する	3.2	自他を尊重する	3.3	自他を尊重する
27	自己の興味・関心、適性などを把握している。	3.1	自他を尊重する	3.2	自他を尊重する	3.2	自他を尊重する	3.1	自他を尊重する	3.4	自他を尊重する
28	将来を見通して主体的に自己の生き方を考えることができる。	2.8	自他を尊重する	3.0	自他を尊重する	2.9	自他を尊重する	3.1	自他を尊重する	3.3	自他を尊重する
29	自ら進んで、互いに尊重しあえる人間関係を築くことができる。	3.1	3.0	3.1	3.1	3.2	3.1	3.2	3.2	3.3	3.3
30	英語でコミュニケーションを取ることができる。	2.2	その他	2.4	その他	2.3	その他	2.5	その他	2.5	その他
31	英語でプレゼンテーションやディスカッションをすることができる。	2.0	2.1	2.3	2.3	2.1	2.2	2.3	2.4	2.3	2.4
32	授業を通して、地域における身近な問題の中から自らの課題を見出し、社会の形成者としての在り方や生き方について考えたとともに、文理両方のアプローチから課題を探究する方法を身につけることができた。		S T O Z E A M N	2.7	S T O Z E A M N		S T O Z E A M N	2.9	S T O Z E A M N		S T O Z E A M N
33	授業において、学習課題に関する幅広い知識を獲得し、課題発見や課題を探究するために必要な知識や技能を身に付けようとした。		S T O Z E A M N	3.0	S T O Z E A M N		S T O Z E A M N	3.0	S T O Z E A M N		S T O Z E A M N
34	授業において、課題を幅広い視点で捉え、総合的に思考し的確に表現しようとした。		S T O Z E A M N	3.0	S T O Z E A M N		S T O Z E A M N	3.1	S T O Z E A M N		S T O Z E A M N
35	授業において、課題や事象に徹底的に向き合い、自己の学習調整を行いながら主体的に取り組もうとした。		S T O Z E A M N	3.0	S T O Z E A M N		S T O Z E A M N	3.1	S T O Z E A M N		S T O Z E A M N